

令和 元 年度 福岡市立 [百道浜小] 学校 学校評価実施状況(公表用)

めざす学校像・子ども像・教員像		課題	今後の改善策
○ 保護者，地域に開かれ，信頼され期待される学校		○いじめゼロ，不登校ゼロに向けた取組 ○ 基本的な生活習慣の定着のための指導の継続	○ 日常的な見取り，定期的なアンケート調査を踏まえた担任とのミニ面談，S C, SSWとの連携，保護者との細やかな連携と情報共有を行う。 ○百道浜のよき校風を意味づけ，価値付けながら，個に応じた指導の徹底を図る。(児童総会など自主的活動の賞賛)
○ 感謝と思いやりの心を持ち，豊かな学力を身につけたやる気あふれる子ども		○対話活動を取り入れた対話力育成に向けた指導の充実	○ 令和2年度A事業授業公開を機とした指導方法の工夫改善を図る。 ○日常の指導の中で，個に応じた指導を行えるように，指導方法工夫改善の活用や，学年共有の教材研究等を積極的にを行う時間の確保を図る。
○ 子どもに対する愛情を持ち，受容力や指導力を備えたやる気あふれる教師		○ 児童の実態に応じた細やかな指導の充実 ○「共育」による子どもたちの育成のための連携 ○学校だより，学校HPを中心とした情報発信による開かれた学校づくりの継続	○教職員のワークライフバランスも考慮したPTA行事，地域行事への積極的な参加の継続を図る。 ○適時，定期的情報発信のための環境整備を図る。
重点目標	指標(取組指標・成果指標)	達成状況についての説明	
○優しさと規律のある百道浜小の校風を創る。	日常からの子どもの実態把握と受容，アンケート等をもとにした学級指導の充実を通し，いじめ・不登校ゼロを目指す。(取組指標)	○ 学校生活アンケート(学期1回)，友だちアンケート(月1回)の実施を確実にし，日常からの実態把握に努めた。いじめ事案が起り，これまで以上に，日常の児童の様子把握と再発防止に向けた取組を行っている。不登校，保健室登校はゼロではない。	
	人権教育の視点に立った学級集団づくりを推進し，児童の生活アンケートの生活面の満足度平均90%を目指す。(成果指標)	○ 学級集団づくりについての研修も定期的に行ってきた。学校生活アンケートの満足度平均は91.5%であった。	
	月の目標を明確にした生徒指導を組織的にし，3名人(挨拶・勉強・掃除)の生活アンケート達成率を2学期末までに85%にする。(成果指標)	○ 各学年の生徒指導担当を中心にしながら継続的な指導を行った3名人に関する学校生活アンケートの達成率は平均82.3%(挨拶86%，勉強78%，掃除83%)であった。	
	日常の継続的な基本的な生活習慣についての指導の機会を通して，3つの宝(名札・立腰・靴並べ)の生活アンケート達成率を2学期末までに85%にする。(成果指標)	○各学年，学級での指導を徹底した結果，三つの宝に関する生活アンケートの達成率は平均89.3%(名札93%，立腰83%，靴並べ92%)であった。	
○豊かな学力の定着を図る。	指導内容や方法の充実を図り，6年全国学力調査において全国平均を上回り，3年～5年では，市平均を上回る。(成果指標)	○ 6年生の学力調査において国語，算数ともに全国平均を上回っている，3年生の算数はやや上回っている，4年生の国語，算数，5年生の国語，算数は上回っている。	
	3年～6年生の国語・算数の単元テストにおいて2学期末時点で，学年の平均点85点以上をめざす。(成果指標)	○ 3～6年生の国語の平均は89.8点。算数の平均は90.4点であった。	
	国語科・社会科を中心に対話活動を学習過程に意識的に取り入れた授業づくりを実践した時数が2学期末までに週2単位時間以上ある担任が80%を目指す。(取組指標)	○ 授業づくりを心がけた担任は100%で，対話活動を意識的に取り入れた授業に週2単位時間以上取り組んだのは，87%で目標を上回った。	
○保護者や地域に開かれ信頼される学校づくりを進める。	1・2学期末の保護者アンケートにおいて「家庭で進んで学習している」「学校はわかりやすい授業をしている」への肯定的回答が平均90%を達成する。(成果指標)	○提出率77.1%・「家庭で進んで学習している:88.7%」「学校はわかりやすい授業をしている:98.9%」で肯定的回答は，平均93.8%であった。	
	サポーター会議を年3回実施し，会議内でいただいた意見をもとに改善を進め，年度末の達成度Bが半数を上回るようにする。(取組指標)	○ 各重点目標の達成に向けて実践を行い，B以上が半数を上回ることができたが，達成が十分でない項目もあり，目標達成とはいえない。	
	積極的な情報提供を行うために毎月の学校だよりの発行や，HPの月ごとの更新を行う。(取組指標)	○学校だより月2～3回発行は，ほぼ達成できたが，HP週2～3回更新は，滞ることがあった。	
	大きな行事や1・2学期末に実施する保護者アンケートで平均で80%の回収と90%の肯定的評価を達成する。(成果指標)	○学期末の保護者アンケートにおける平均回収率は2学期末:79.4%回収・97.6%の肯定的評価であった。	
全教職員が，積極的且つ計画的にPTA行事や地域行事に関わり，夏祭り，はまっぴなどに，一人1回以上参加する。(取組指標)	○全職員，1回以上の参加ができた。夏祭り，はまっぴフェスタにはほぼ全員の教職員が何らかの形で参加できた。また，芝生の上で映画を見る会，校区文化祭，餅つき，どんど焼きにおいても少数ではあったが参加することができた。		
学校関係者評価についての説明(評価委員からの意見・要望・改善に向けた提言等)			
○ 挨拶については，顔見知りの場合は，挨拶が交わされているが，校区の行事などでは，子どもも保護者も挨拶する人が限られている現状もある。引き続き，挨拶名人に親子ともに取り組んでほしい。			
○ 授業づくりを心がけ，対話活動を意識的に取り入れた授業に週2単位時間以上取り組んだ担任が87%で，目標を上回っているため，対話活動がより子どもたち主体のものとなるよう，更なる授業づくりに取り組んでほしい。そのための話し方・聴き方などのスキルアップと，系統性のある継続指導，新学習指導要領が掲げる「主体的・対話的で，深い学び」についての研修の充実も期待している。			
○ 地域やPTA行事に，たくさんの先生方が積極的に関わっていただいたことは，保護者・地域に開かれ信頼される学校づくりの姿だと感謝している。とともに，教職員のワークライフバランスも考慮した参加にも配慮して欲しい。今後も，学校・保護者・地域が子どもたちのために，より一体となり「共育」を進めていきたい。			
○ 年3回の学校サポーター会議と，校内参観等を通し，毎回，熱心な協議が行われ，よい点，改善点など忌憚のない意見が出され，学校運営により示唆をいただいている。			